

(様式1)

平成30年度 学 校 経 営 計 画

1 学校教育目標

校訓「自主協調」「明朗誠実」「進取敢闘」を指針として高等普通教育および商業に関する専門教育を施し、生涯にわたって愛と正義の理想を追求する、より高い人格の育成に努める。

2 学校の特徴

- ・ 商業の高い専門性を極めながら、部活動も活発に展開している。
- ・ 礼儀を重んじ何事にも挑戦する真摯な態度を育て、全人的な教育を施している。
- ・ 地域社会に貢献できる商業人の育成を目指し、「TOMI SHOP」の実施や外部講師による授業、現場実習など、実社会に即応した教育を展開している。
- ・ 「AKB(あき人)で育て、AKB(あき人)で送り出す」というキャッチフレーズを掲げ、「富商ブランド」を担う人材育成に努めている。

3 学校の現状と課題

(1) 現状

- ・ 小学科制を採用し、1年次から各学科の特性を生かした教育課程を編成し、専門性の深化に努めている。また、学科の枠を外して、専門教科、普通教科を含めた科目選択ができる総合選択制をとるなど、生徒の多様な能力や適性、進路希望等に対応している。
- ・ 教職員が共通理解のもと、相互に連携・協調を図り、挨拶や頭髪指導をはじめ、日々の生活指導をとおして人格教育に当たっており、規律のある校風が保たれている。一方で、校則の遵守や、挨拶の徹底など、基本的な生活習慣が十分に身につけていない生徒も見受けられる。
- ・ 生徒全員が部活動に加入しており、それぞれが全国大会出場などの高い目標に向かって部活動に励んでいる。また、その活躍が学校の活性化に大きく貢献している。一方で、部活動での鍛錬の成果を学校生活全般に波及させるよう努めることが必要である。
- ・ 商業等の専門教育の成果を測る尺度として、高度な資格取得に積極的に挑戦させるとともに、生徒が自分の将来の生き方を考え、進路の適切な選択ができるよう支援するために、教育活動全体を通して計画的、組織的に取り組んでいる。
- ・ 「TOMI SHOP」をはじめとした実践的な学習を通して、望ましい勤労観や職業観の育成に努めるとともに、社会人基礎力を段階的に身に付けさせている。

(2) 課題

- ・ 生徒の興味・関心や理解度の把握に努め、実態に応じた指導を通して確かな学力を身に付けさせる。また、ビジネスを理解・実践する力と豊かな人間性を身に付けさせるために、各種教育活動の改善・充実に努める。
- ・ 生徒個々に応じたきめ細かな部活動指導に努めるなど、生徒が目標に向かってねばり強く取り組むことができる教育環境を整える。
- ・ 日々の学校生活の中で、挨拶など基本的な生活習慣を確立させるとともに、コミュニケーション能力を高める教育活動を推進する。
- ・ 生徒が将来の職業生活を見据え、真摯に学習に取り組み、主体的に進路を考えることができるように、自己実現に向けた支援に努める。
- ・ 「TOMI SHOP」など地域や社会、保護者と連携した活動を通じて、勤労観・職業観の育成に努めるとともに、地域社会に貢献できる職業人を育成するための学習活動を推進する。